

以下に、発明説明書（発明届出書）の例を示します。ただし、これはあくまで見本であって、特定の企業で使われているものではありません。

また、「私／私達は、・・・・・・に譲渡します。」の文を削除すれば、発明者が自己の発明を整理するための「発明メモ」として使用可能です。

泉特許事務所

弁理士 泉 克文

発明提案書

私／私達は、〇〇〇〇株式会社の就業規則に基づき、下記の発明について、日本および外国において特許を受ける権利を〇〇〇〇株式会社に譲渡します。

1. 発明の名称

発明を区別できる簡単な名前を付けて下さい。（例えば、六角形鉛筆）

2. 発明の技術分野

発明がどのような技術分野に関係するものであるか、を書いて下さい。（例えば、筆記具）

3. 従来技術の問題点

発明に一番近い従来技術を説明し、その従来技術の持つ問題点を書いて下さい。問題点が生じる理由も一緒に書いて下さい。さらに、従来技術が記載されている特許公報、学術文献、書籍、ウェブサイト等を明記し、できればそのコピーを添付して下さい。コピーがない場合は、それらの番号やタイトル、URL等を明記して、後から従来技術を参照できるようにしてください。（例えば、鉛筆の形状が丸形のため、机等から転がり落ちて芯が折れてしまう。）

4. 発明で採用した手法・原理

3. に書いた従来技術の問題点を解決するために、発明で採用した手法や原理を書いて下さい。一番大事な部分なので、図面や表、写真等を使って分かりやすく書いて下さい。（例えば、鉛筆の断面を六角形にした。）

5. 発明により得られる効果・利点

4. に書いた手法や原理によって得られる効果や利点を書いて下さい。この効果や利点は、「3. に書いた従来技術の問題点が解消した」というように書くだけでもよいのですが、それ以外にも効果や利点がある場合が多いので、それらも書いて下さい。技術的效果・利点だけに限らず、経済的效果・利点等があれば、それも書いて下さい。（例えば、断面が六角形とされていて転がり難いため、鉛筆の使用感を丸形鉛筆と同様に保ちながら、机等から転がり落ちて芯が折れる、という問題を解決できる。）

6. 発明の実施形態・実施例

4. に書いた手法や原理を適用した具体例を少なくとも一つ挙げ、図や表（フリーハンドで書いたものでもよい）写真等を用いて、4. で書いた手法・原理よりも詳しく説明して下さい。発明が何らかの装置やシステムであればその構造・機能と動作を説明し、方法・プロセスであればその全工程（全ステップ）を順に説明して下さい。（例えば、断面を六角形とした鉛筆の図を添付して、その全体形状、大きさ、材質等を説明し、さらに、丸形鉛筆に比べて転がり難い理由などを説明する。）

7. 発明の変形例

6. に書いた発明の実施形態や実施例とは異なる形態（変形例・バリエーション）があれば、6. で書いた実施形態・実施例との違いが分かるように説明して下さい。（例えば、断面を八角形とした鉛筆や五角形とした鉛筆、四角形とした鉛筆等の図を添付し、6. で書いた実施形態・実施例との違いを説明する。）

以 上